

2024 年度ゼミ（演習 1）要覧

担 当 者 名	新多 了
演習テーマ	言語はどのように学ばれるのか？—第二言語習得入門
演習の内容	<p>この授業では、なぜ第二言語（私たちににとっての英語）習得は難しいのか、どうすればもっと効果的に学習を進めていくことができるのかについて、考えていきます。具体的には以下の内容を取り扱います。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 第二言語習得の様々な概念について理解する。</li> <li>• 外国語学習の効果的な教え方・学び方を考える。</li> <li>• 第二言語習得の主な研究方法について理解する。</li> </ul> <p>「第二言語習得」とは、私たちが母語習得後にどのように 2 つ目以降の言語（第二言語、または外国語）を学習し使用するのかについて研究する学問分野です。第二言語習得は、「どうすれば第二言語を習得できるのか？」という現実的な問いに答えるために、言語学、心理学、社会学、教育学、人類学などの様々な分野を取り込みながら学際的分野として発展してきました。本演習では、第二言語習得の基本的な理論や概念について理解を深めるとともに、自分の関心のあるテーマを選んでグループで発表およびディスカッションを行います。</p>
テキスト・参考書	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 『はじめての第二言語習得論講義』 馬場今日子・新多了著（大修館書店、2016 年）</li> <li>• 『「英語の学び方」入門』 新多了著（研究社、2019 年）</li> <li>• 『英語学習の科学—第二言語習得の専門家 11 人に英語学習について聞いてみました』 中田達也・鈴木祐一編（研究社、2022 年）</li> </ul>
成績評価の基準	<ul style="list-style-type: none"> <li>• グループ発表 60%</li> <li>• レポート 30%</li> <li>• 積極的な授業への貢献 10%</li> </ul>
校 外 実 習	（ 実施する、 <span style="border: 1px solid black;">実施しない</span> ）
校外実習を実施する場合、実習地・時期、個人負担額	
選考方法	志望理由書、面接などから総合的に判断します。
小論文（テーマ、書式・枚数、提出期限・方法）	なし
メールアドレス	rnitta@k.meijigakuin.ac.jp

説明会・オフィスアワー	<p><u>説明会</u></p> <p>下記の日時に対面およびオンラインで実施します。いずれも都合が悪い場合は個別に対応しますので、その旨メールで連絡してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 5月10日（金）12時40分—13時15分（対面）823教室</li> <li>● 5月14日（火）12時40分—13時15分（対面）823教室</li> <li>● 5月16日（木）17時—17時30分（オンライン）</li> </ul> <p>対面説明会は予約不要です。お昼休みですので、昼食を持って参加してください。オンライン説明会参加希望の場合は、5月16日16時までに、Microsoft Forms から登録してください。登録した方に、当日16時半までにアクセス URL を送ります。</p> <p>Microsoft Forms（オンライン説明会登録）  <a href="https://forms.office.com/r/RuHgZPzgkr">https://forms.office.com/r/RuHgZPzgkr</a></p> <p><u>応募</u></p> <p>以下の3点について、<u>5月26日までに</u>、Microsoft Forms から登録してください。この登録とは別に、<u>manabaの申し込み受付も必ず行ってください。</u></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 本演習に関心を持った理由および、研究してみたいテーマ</li> <li>(2) これまでもっとも力を入れて取り組んできたこと</li> <li>(3) 面接希望日</li> </ol> <p>*面接はオンライン実施を予定しています。</p> <p>Microsoft Forms（演習1応募）  <a href="https://forms.office.com/r/LACCTKsMyu">https://forms.office.com/r/LACCTKsMyu</a></p>
履修済・履修中であることが望ましい授業	「グローバル・コミュニケーション」（2024 年秋学期）、「ことばと社会」（2025 年秋開講予定）を履修（予定）であることが望ましい。
2025 年度に在外研究等で演習を開講しない可能性	（あり、 <span style="border: 1px solid black;">なし</span> ）
備考	